



GO!GO!

令和5年度 郡山市立緑ヶ丘第一小学校だより

令和5年5月2日

学校便り No6

文責：校長 新田直子

みどりっ子便り



授業参観・懇談会・PTA 総会ありがとうございました

4月27日(木)、今年度初めての授業参観と学年懇談会、PTA総会を行いました。換気を行いながら、3年ぶりに通常どおりの形式で実施することができました。

授業参観では、各学級で真剣に授業に取り組む子どもたちの姿が見られました。入学して3週間の1年生も、しっかりと話を聞いて学びに取り組んでいる姿が見られました。学習の様子をお家の方々に見ていただき、子どもたちはとても嬉しそうでした。

授業参観後に、全学年で学年懇談会を行いました。PTA総会も、体育館で一堂に会して行うことができました。学校経営方針や学年経営方針などを保護者の皆様と3年ぶりに直に話し合うことができ、大変有意義な会となりました。PTA総会も、3年ぶりに対面式で意見を交流し合うことができました。これまで紙面開催が続き、十分に共通理解を図ることができなかつたこともあったかと思えます。学校と保護者の皆様が互いに力を合わせて連携し合い、子どもたちのための活動がさらに充実するよう、今後ともよろしく願いいたします。保護者の皆様には、ご多用の所、多数ご参加並びにご協力いただきありがとうございました。



あいさつは 心をつなぐ 魔法の言葉



保護者の皆様には、朝の交通指導にご協力をいただき感謝申し上げます。毎月1日には、本校教職員も分担を決めて交通当番を行っていますが、その際、校外での子どもたちのあいさつに課題があることが反省に上がっています。校内では元気にあいさつできるお子さんが増えてきましたが、校外でも保護者や地域の方々へ、気持ちのよいあいさつができるようにしたいものです。

本校の重点事項「3つのあ(あいさつ・あんしん・あきらめない)」の「あいさつ」の大切さについて、昨年度から全校集会で子どもたちに話してきました。「おはよう」「ありがとう」「ごめんなさい」などのあいさつは、人と人との心をつないでくれる魔法の言葉であること、言った人も言われた人も嬉しい気持ちや優しい気持ちになって、あいさつと一緒に優しい気持ちがどんどん広がっていくこと、みんなで力を合わせてあいさついっぱい、優しさいっぱいの学校にしよう、と呼びかけてきました。

子どもたちがあいさつできるようになるには、身の回りにいる私たち大人が、率先して行うことが重要であると思えます。学校教育だけで育つ姿・習慣ではありません。家庭・地域の中で、子どもが大人(親)の後ろ姿を見て、まねるように身につく力・姿なのです。朝起きたときに家の人から「おはよう」と声をかけてもらうこと、家の手伝いを頑張ったときに「ありがとう」と言ってもらえること・・・、そのような経験が、子どもたちのあいさつの原動力になると思えます。家庭、地域、学校、みんなで力を合わせて、あいさついっぱい、優しさいっぱいの学校、地域にしていきたいと思えます。保護者・地域の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。